



レスポンシブル・ケア



環境レポート 2013

レスポンシブル・ケア報告書



株式会社 ADEKA 相馬工場

環境レポートは再生紙を使用しています。

1. 目次

1. 目次	・ ・ ・ 1
2. 環境レポート作成にあたって	・ ・ ・ 1
3. ご挨拶	・ ・ ・ 2
4. 相馬工場概要	・ ・ ・ 3
5. 相馬工場の製品	・ ・ ・ 3
6. 相馬工場の組織	・ ・ ・ 4
7. 工場方針	・ ・ ・ 4
8. 災害・事故防止	・ ・ ・ 5
9. 水質汚濁防止	・ ・ ・ 5
10. 大気汚染防止	・ ・ ・ 6
11. 騒音・振動防止	・ ・ ・ 7
12. 悪臭防止	・ ・ ・ 7
13. 産業廃棄物削減	・ ・ ・ 8
14. 一般廃棄物削減	・ ・ ・ 9
15. 省エネルギー	・ ・ ・ 9
16. 化学物質	・ ・ ・ 10
17. 品質クレーム	・ ・ ・ 10
18. 地域交流と工場活動	・ ・ ・ 10、11
19. 被災地に向けた当社グループの支援	・ ・ ・ 12

2. 環境レポート作成にあたって

本レポートは株式会社 ADEKA 相馬工場における災害・事故防止の活動、環境保全の活動他について相馬工場業務課が作成しました。

作成にあたっては環境省の「環境報告ガイドライン 2007 年度版」を参考としています。

ADEKA 及びグループ企業の CSR については、ADEKA 本社で作成した CSR レポート冊子及び web でご覧いただけます。

※ADEKA グループ CSR サイト <http://www.adeka.co.jp/csr/index.html>

※財務情報、投資家情報 <http://www.adeka.co.jp/ir/index.html>

【対象範囲】：株式会社 ADEKA 相馬工場の安全・品質・環境保全活動・産業廃棄物の削減他。

【対象期間】：2008 年からの推移とともに 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日。

3. ご挨拶

2011年3月11日に発生しました「東日本大震災」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当工場も津波の被害により、生産活動が一時できない状況となりましたが、同年7月に再開し、現在では通常通りの生産に戻っております。今回の震災では、危機管理の一環として注力しておりますBCMS（事業継続マネジメントシステム）の実行により、お客様に影響を及ぼすことなく乗りきることができました。

今後も災害に強い工場であるよう従業員一同、努力して参ります。



相馬工場を襲う津波



復旧した相馬工場

ADEKAグループの経営理念と経営の基本方針

「新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す」「世界とともに生きる」を経営理念とし、独自性のある優れた技術で、顧客ニーズに合った、時代の先端を行く製品を提供し、国際社会の一員として、社会との調和を図りながらステークホルダーの期待に積極的に応えていくことを経営の基本方針としています。

当工場は、世界一のモリブデン系潤滑油添加剤の生産拠点として自覚と誇りを持ち、〔品質・環境・安全〕の維持、向上及び、緊急時の事業継続を目指し日々活動しています。

製品は、自動車用エンジンオイルの添加剤として使用され、摩擦低減、静粛性向上、酸化防止等の効果から省燃費や潤滑油の長寿命化を実現しています。

国内の自動車産業は勿論、欧米を始めとする全世界で使用され、ご好評を頂いており、この効果は少なからず地球温暖化防止に寄与しているものと信じています。

生産にあたり、「ISO9001；品質マネジメントシステム」「ISO14001；環境マネジメントシステム」「OHSAS18001；労働安全衛生マネジメントシステム」を認証取得、これらを効率的、効果的且つ、シンプルに実践するため、「統合マネジメントシステム（IMS；Integrated Management Systems）」に集約し、工場運営の基盤としています。

また、「BS25999-2；事業継続マネジメントシステム」を認証取得し、緊急時に備えています。

これら活動を通じて、地域の皆様をはじめとする全てのステークホルダーから信頼・安心される工場を目指します。

2013年10月
株式会社 **ADEKA** 相馬工場
工場長 吉永 雄一郎

4. 相馬工場概要

所在地 : 福島県相馬市光陽一丁目1番地1
 工場設立 : 1995年(平成7年)
 敷地面積 : 228,458m²(約7万坪) 東京ドーム約5個分
 従業員 : 16人(2013年10月現在)
 沿革 : 1995年11月 操業開始
 1998年 8月 ISO 9002 認証取得
 2000年 8月 ISO 14001 認証取得
 2002年 12月 OHSAS 18001 認証取得
 2003年 9月 ISO 9002 から 9001 へ移行
 2004年 12月 IMS「統合マネジメントシステム」を運用
 2007年 4月 宮城県沖地震を想定した緊急時事業継続計画「BCP」を策定
 2010年 3月 BS 25999-2 認証取得

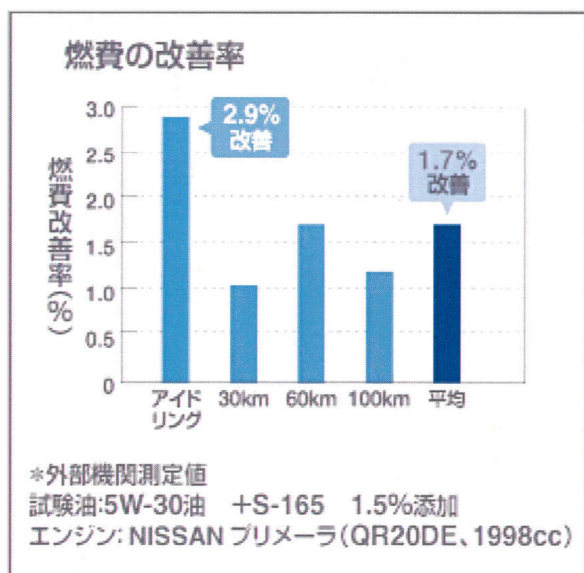
5. 相馬工場の製品

日本国内で唯一、モリブデン潤滑油添加剤を製造しており世界シェア NO.1 です。自動車のエンジンオイルに添加することで省燃費、炭酸ガス発生量の低減を実現します。1995年にはその優秀性が認められ石油学会賞を受賞しました。

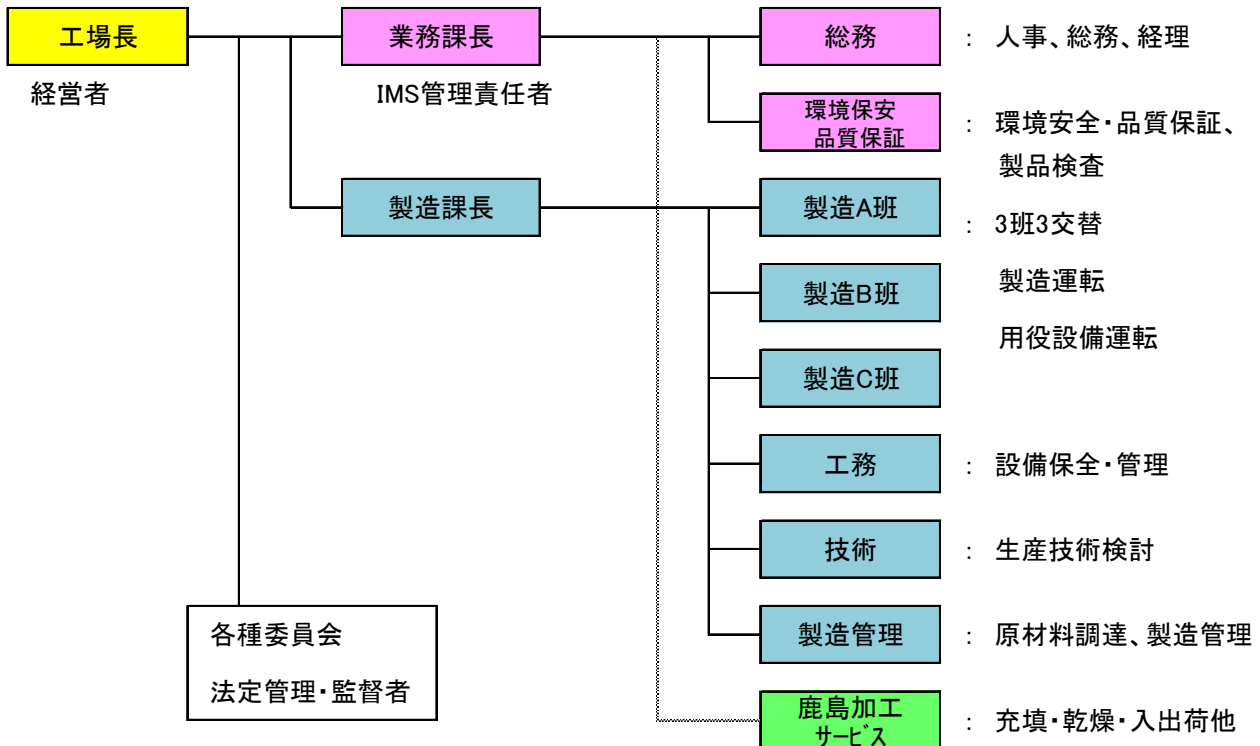


石油学会賞受賞

～弊社 HP より～



6. 相馬工場の組織



7. 工場方針

- 1 品質、環境、労働安全衛生及び事業継続の4つのマネジメントシステムを統合化し、効率的且つ効果的な活動にする。
- 2 会社方針、生産本部分針及び環境・安全対策本部方針を受け、工場管理の強化(4つの安全から安心へ)を掲げ工場活動を推進する。
- 3 潤滑油添加剤の世界一の工場としての誇りを持ち、常に安全で効率的、且つ品質と生産技術及び現場改善力を向上させ、全ての利害関係者から満足・信頼される工場運営を追求する。
- 4 BCMを構築し、継続的改善を通じて全従業員への周知徹底、BCM文化を組み込む。
- 5 風光明媚な松川浦、緑豊かな阿武隈山地など、美しい自然環境を守る責務があることを認識し、法令・規則及び当工場が同意する顧客・利害関係者を含む要求事項を遵守した工場経営をおこなう。
- 6 当工場従業員は、危険物、毒劇物、有機溶剤、高圧ガスなどを取り扱う化学工場であること、事業中断・非常事態等のインシデント(危機)が常に存在することを認識し、環境汚染の予防、負傷・疾病の予防、事故・災害の予防、危機管理に配慮した活動をおこなう。
- 7 定期的に目標の設定及び見直しをおこなう。又、統合マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的改善を図る。
- 8 当工場従業員及び当工場に働く全ての人は本方針を理解し、業務を遂行する。

8. 災害・事故防止

操業開始以来、無事故・無災害を 18 年継続中です。

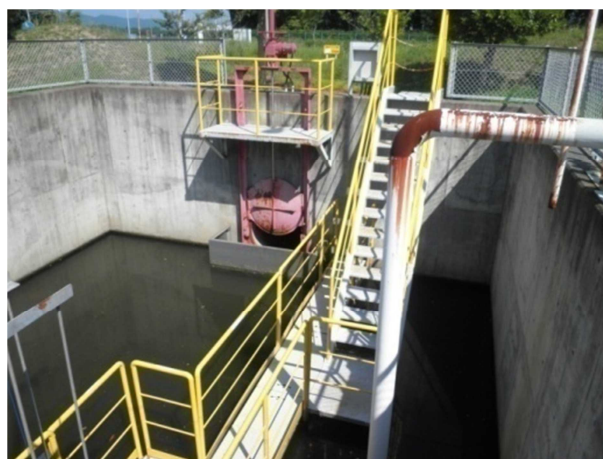
9. 水質汚濁防止※

※10.～13. は操業以来すべて公害防止協定値を外れることなく安定した管理ができています。

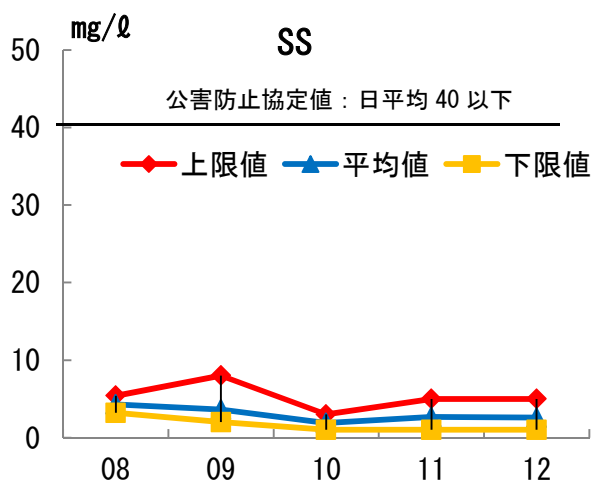
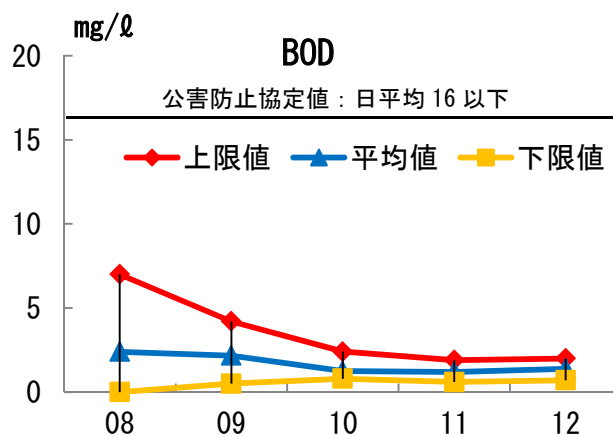
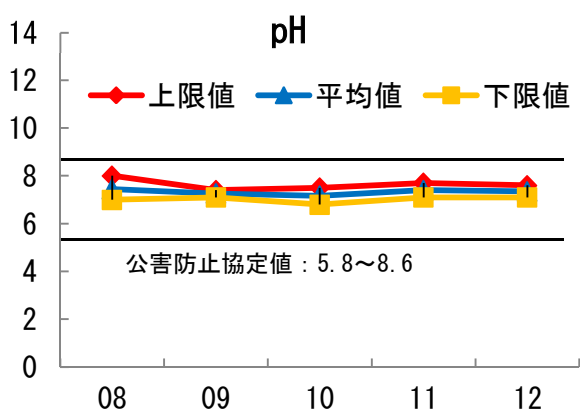
工場から発生した排水は汚染状態によって焼却処理、排水処理を経て排出しています。水質は公害防止協定・法令によって定期的な分析・監視を実施しています。



排水処理設備



排水ピット



pH : 酸性、アルカリ性を示す
 BOD : 生物化学的酸素要求量
 SS : 浮遊物量

10. 大気汚染防止※

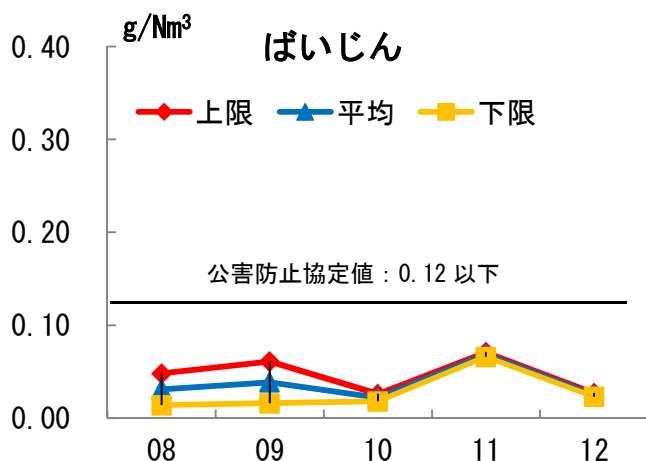
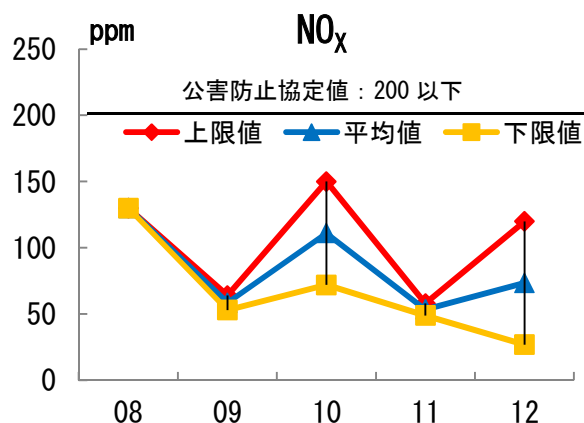
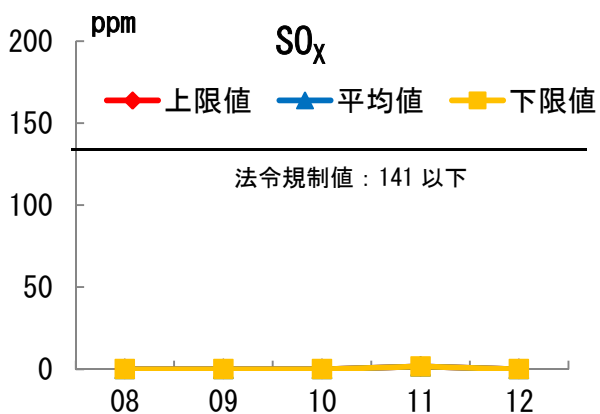
規制対象設備は廃棄物焼却炉です。ばいじんを除去するガスフィルターを設置し、排出を抑制しています。運転状態の常時監視と連続記録により、法で規定された運転管理を実施しており、維持管理状況は弊社ホームページにて公表しています。



廃棄物焼却炉



ガスフィルター



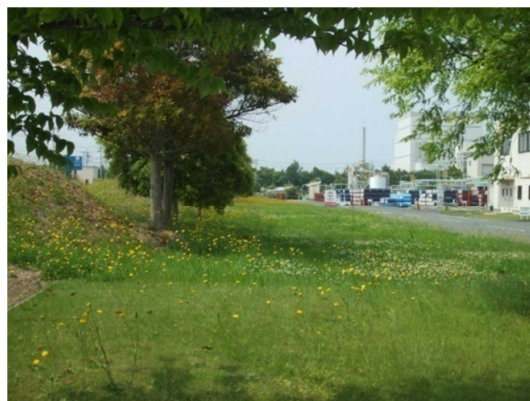
SO_x：硫黄酸化物 (k 値 17.5 換算値)
 NO_x：窒素酸化物
 ばいじん：すす、塵等

11. 騒音・振動防止※

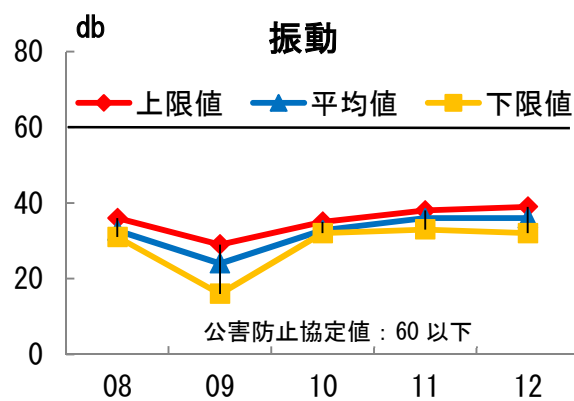
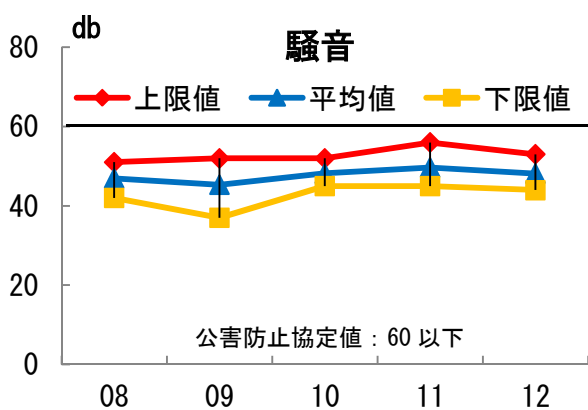
騒音・振動発生設備には空気圧縮機、送風機、非常用発電機があります。騒音・振動の小さい設備を設置し、屋内に配置しています。工場周辺には緩衝緑地を設け遮音効果を向上させています。



空気圧縮機



緩衝緑地



12. 悪臭防止※

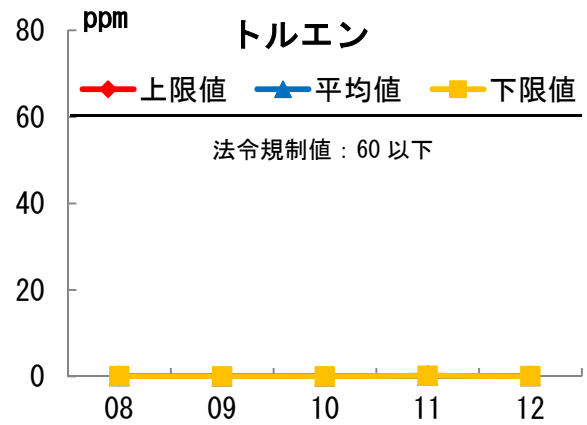
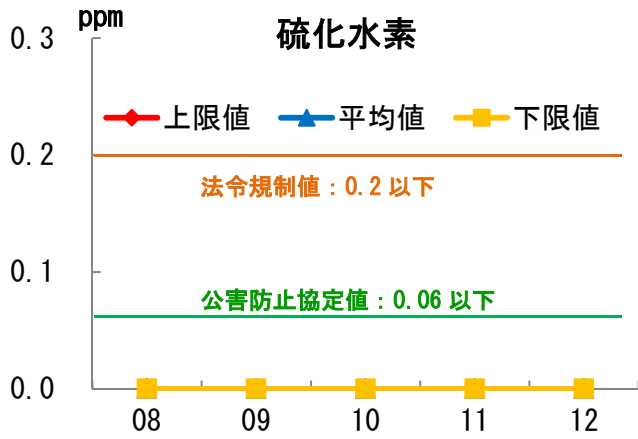
悪臭規制物質は硫化水素・トルエンの2物質です。設備の密閉化、窒素シール、排ガス処理設備にて外部への排出を削減しています。



排ガス処理設備

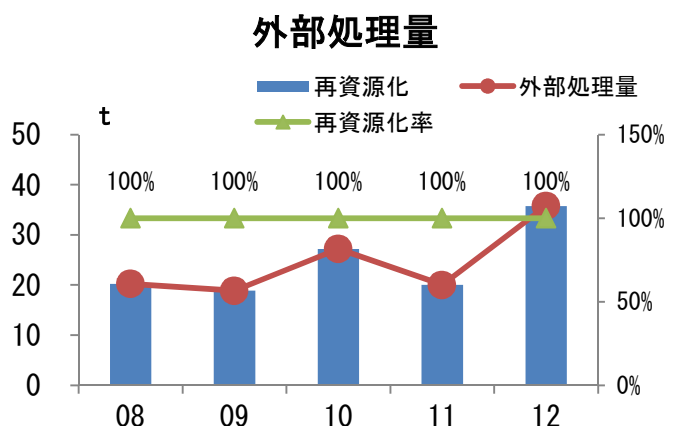
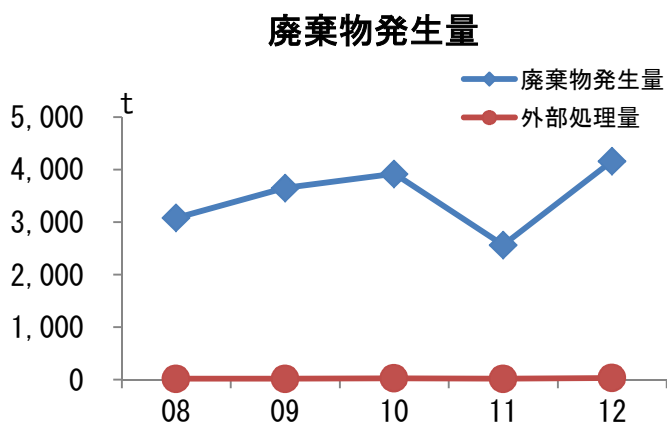


排気筒



13. 産業廃棄物削減

廃棄物は生産工程からの廃油、廃液、製品濾過汚泥や、紙、ビニールくず等が発生します。発生量の削減、自社処理、リサイクルを推進しています。2003 年度より完全ゼロエミッションを継続しており、2009 年 3 月に福島県の「もったいない活動・ゼロエミッション活動コンクール」の最優秀事業所として県知事表彰を受賞しました。2012 年の廃棄物発生量の増加は、東日本大震災の影響によるものです。



自社処理有効活用

廃油	重油代替燃料
廃液	焼却後有価物回収
廃サンプル瓶	超音波洗浄後リサイクル

外部処理有効活用

廃プラスチック 包装材	粉碎・圧縮後燃料化
廃紙包装材	粉碎・圧縮後燃料化
製品ろ過汚泥	焼却後路盤材原料

売却

廃パレット類	売却リサイクル
スクラップ類	スクラップ原料
廃ドラム缶類	リサイクル・売却

14. 一般廃棄物削減

従業員にマイ箸やエコバックの奨励、ゴミの分別資源化、たばこの吸い殻やティッシュを馬糞と混ぜ、コンポストによる堆肥化を進めゴミの削減を推進しています。2009 年から活動を開始しており、月に約 1～2 kg をコンポスト入れ、現在も継続中です。



自社製コンポスト



馬糞を投入



吸い殻やティッシュを投入



馬糞と混合

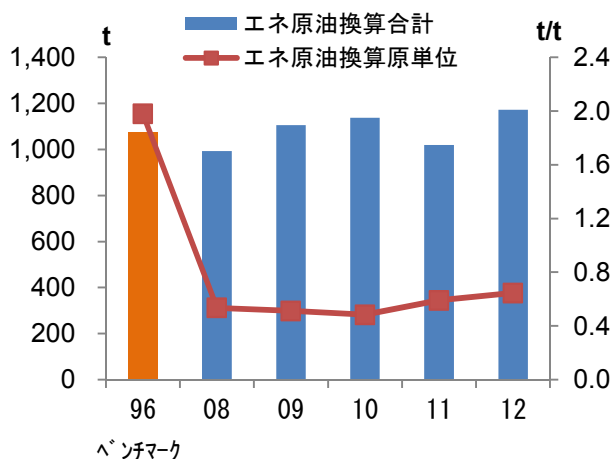


堆肥化成功

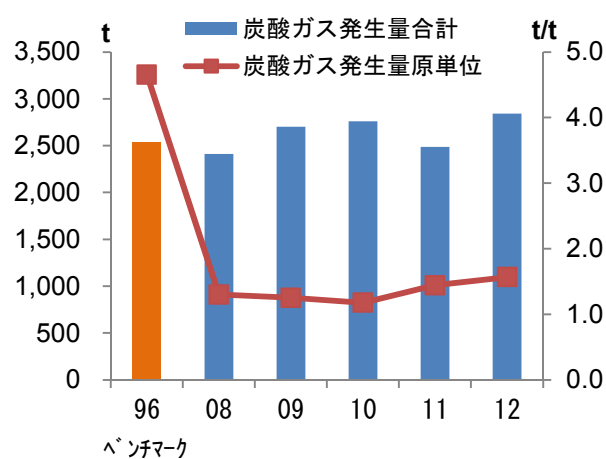
15. 省エネルギー

エネルギーは重油と電力を使用しています。2008 年の世界同時不況による影響を受けましたが、当工場の潤滑油添加剤の生産・出荷は復調し、炭酸ガス発生量は増加傾向にありました。炭酸ガス削減のために効率的な生産方法の検討や、新エネルギーの利用が今後の課題です。

エネルギー原油換算量



炭酸ガス発生量



16. 化学物質

P R T R法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）で対象となる第一種指定化学物質は下記の4物質です。特に当工場の主原料であるモリブデンについては外部業者測定の外に自主測定を実施し物質の管理強化を図っています。2012年度のモリブデン及びその化合物の移動量が多いのは東日本大震災により原材料が被災してしまい、産業廃棄物として外部処理した為です。

2012年度 排出量・移動量		※有効数字2ケタの届出値	
第一種指定化学物質	単位	排出量	移動量
トルエン	kg	6,200	0
二硫化炭素		600	0
モリブデン及びその化合物		25	4,800
ダイオキシン	mg-TEQ	0.000275	0



窒素シールされたタンク



化学物質回収設備

17. 品質クレーム

リスクアセスメントにより、想定される問題の対策を事前に講じる事でクレームを防止しています。操業以来、品質クレーム発生を2件('98、'06各1件)に留めています。

18. 地域交流と工場活動



相馬市へ寄付



新地町へ寄付



工場周辺ゴミ拾い



そうま市民まつり



新地町復興産業まつり

優良事業所表彰受賞

相馬地方防火安全協会 相馬支部様より



防災訓練



19. 被災地に向けた当社グループの支援

◆◆株式会社 ADEKA は、被災地への支援にも尽力してまいります◆◆

1. 義援金：合計金額：2,000 万円

金額	義援金拠出先
1,000 万円	社団法人日本経済団体連合会 (社会福祉法人中央同募金会) 金額内訳：当社 800 万円、関連会社（10 社）200 万円
1,000 万円	福島県相馬市、福島県新地町

2. 支援物資の提供

当社関連会社である「上原食品工業株」で製造・販売中のレトルトカレー合計 350 ケース（7,000 食分）を支援物資として福島県相馬市、福島県新地町に提供。

3. 仮設住宅建設用地の無償貸与

相馬工場近隣の当社遊休地を仮設住宅建設用地として相馬市に無償貸与。

物 件	福島県相馬市新沼字刈敷田 18-5 (地積 6,007.19m ²)	福島県相馬市新沼字刈敷田 1-54 (地積 2,824.15m ²)
	地積合計：8,831.34m ²	



4. 相馬工場敷地内に福島県の水産種苗研究・生産施設復旧

東日本大震災の津波で被災した水産種苗研究・生産施設復旧の為に事業用定期借地権の設定に関する覚書を締結し、相馬工場敷地内の一部に水産種苗研究施設を建設することになりました。

研究・生産施設ではヒラメ、アワビ、アユなどの養殖を行うことになっており、2014 年 4 月着工、2016 年度の稼働予定となっております。



覚書に調印し握手する佐藤知事(右)と郡社長。左は立谷相馬市長。

環境レポート（2013 年版）2013 年 10 月発行

発行責任者：株式会社 ADEKA 相馬工場
作成担当者： ”

工場長 吉永 雄一郎
業務課長 阿部 栄洋

連絡用紙

株式会社 A D E K A 相馬工場 業務課行

〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番地1

TEL 0244-38-8877

FAX 0244-38-8847

この環境レポート、または相馬工場についてのご意見・ご質問・ご感想などをお寄せ下さい。
今後の参考とさせていただきます。

また、工場見学も歓迎いたしますので、ぜひお越し下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

お名前		ご職業	
ご住所			
TEL		FAX	



株式会社 ADEKA 相馬工場
〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番地1

お問い合わせ先
業務課
TEL:0244-38-8877 FAX:0244-38-8847